

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月13日(月) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月11日(土)～13日(月)

- 13日(月) 17時現在, 州内の感染者は8895人(前日8755人), 死者は608人(同588人)。感染は州内167市で, 死者は65市で確認。死者の内訳は男性351人, 女性257人で, 60歳以上が82.2%。(図表入りの詳細は州政府サイト <https://www.seade.gov.br/coronavirus/>で確認可能)
- 13日(月), ドリア・サンパウロ州知事は, 12日(日)のサンパウロ州における社会的隔離の達成率が59%だったと発表。同数字はサンパウロ州民が社会的隔離政策に理解を示し, 協力的な対応をしていることを表すが, 今後は目標である70%を目指し, 州民による更なる協力を期待する旨コメント。
- 13日(月), サンパウロ州政府は同日夜からコロナウイルス対策キャンペーン用の新たなメッセージ動画をテレビ, ラジオ, インターネットを通じて流すと発表。
- 13日(月), サンパウロ州政府は医療体制を強化すべく, 新たに1185人の医療従事者を雇用すると発表。
- 13日(月), サンパウロ州政府は14日(火)より, 200人の衛生当局関係者及び軍警の協力を得て, 市内で不要不急の商業活動を行っている施設を指導するキャンペーンを実施と発表。
- 13日(月), サンパウロ州保健局は14日(火)より毎日15時に定例記者会見を実施すると発表。
- 13日(月), サンパウロ州政府は企業関係者との4回目の会合を実施。これまでに83の企業, 団体, 個人等から累計3億6760万リアル分の寄付を受けている。
- 13日(月) 15時現在, サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は計112人。うち, パカエンブー競技場内の仮設病院では61人, アニエンビー国際展示場内の仮設病院では51人がそれぞれ入院。
- 13日(月), サンパウロ市は, アルベルト・アインシュタイン病院の受付付近に, ブラジルのスタートアップ企業 Hoobox 社と Radsquare 社が開発した顔認証機能搭載の体温検知システムが設置されたと発表。
- 11日(土), サンパウロ市住宅局は13日(月)より基本的な生活インフラが脆弱な市内貧困地域での水道整備工事を開始すると発表。対象地域は市西部のアグア・ブランカ, カマラザル, アグア・ポドレ地区等多数。

2 マット・グロッソ州

4月12日(日)～13日(月)

- 13日(月) 17時現在, 州内の感染者は134人(前日123人), うち州都クイアバ市が72人, ロンドノーポリス市が22人, シノピ市が11人と続く。死者は同日午前に4人目が確認された。亡くなったのは, ロンドノーポリス市在住の75歳男性で, がん治療のため4日(土)にサンパウロを訪れていた。
- 13日(月), 同州インフラ・ロジスティクス局(Sinfra)は窓口対応の中止を30日(木)まで延長すると発表。
- 12日(日), 同州政府は13日(月)から一週間, 民間企業や公的機関でのマスクの着用を義務付けると発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月8日(水)～13日(月)

- 13日(月) 午前11時現在, 州内の感染者は113人(前日101人), うち州都カンポ・グランデ市が55人, トレス・ラゴアス市が11人, ノーヴァ・アンドラジーナ市が10人と続く。感染疑いは63人(前日同)で, 入院患者は16人。死者は同日, 新たに3人目(71歳女性:カンポ・グランデ市:心臓疾患と糖尿病を患っていた)と4人目(63歳女性:同市:がんを患っていた)が確認された。
- 10日(金), 同州政府は連邦政府の経済対策の一環で, 家族農業等への財政支援(融資等)を実施と発表。
- 9日(木), カンポ・グランデ市は13日(月)よりドライブスルーでのコロナウイルス検査を開始と発表。
- 8日(水), カンポ・グランデ市は9日(木)より美容室やエステの営業再開を条件付きで許可と発表。

(了)